

# IB についての基礎事項

最終更新日：2020 年 2 月 17 日



## 目次

1	IB とは	1
1.1	国際バカロレアが目指す教育 . . . . .	1
2	IBDP の教育課程と評価	2
2.1	IBDP の教科グループと科目およびスコア . . . . .	2
2.2	IB の評価方法 . . . . .	2

1 IB とは

IB とは、International Baccalaureate の略で、日本語で言うと「国際バカロレア」のことである。

1.1 国際バカロレアが目指す教育

国際バカロレアは、学校や国、国際機関などと協力し「**多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献する、探求心、知識、思いやりに富んだ若者**」を育成すること目的としている。また、IB のプログラムは、世界各地で学ぶ児童生徒に、「**人が持つ違いを違いとして理解し、自分と異なる考えの人々にもそれぞれの正しさがあり得ると認めることのできる人**」として、積極的に、そして共感する心をもって**生涯にわたって学び続ける**ように働きかけている。IB の教育の目的は一言で言ってしまうと「**世界平和**」である。

IB の教育プログラムは「**初等教育プログラム [PYP(Primary Years Programme)]**」「**中等教育プログラム [MYP(Middle Years Programme)]**」「**ディプロマプログラム [DP(Diploma Programme)]**」「**キャリアプログラム [IBCP(Career-related Programme)]**」の 4 つである。PYP は 3 ～ 12 歳、MYP は 11 ～ 16 歳、DP は 16 ～ 19 歳を対象にしたプログラムである。どのプログラムにも共通するのが「**国際的な視野を持つ人格を育成する**」という理念である。このために IB は「**IB の学習者像**」として、次の目標に向かって努力する。

1.1.1 IB 10 の学習者像

1. 探求する人	好奇心を育み、探求し研究スキルを身につける。ひとりで学んだり、他の人々と共に学んだりする。熱意をもって学び、学ぶ喜びを生涯を通じてもち続ける。
2. 知識のある人	概念的な理解を深めて活用し、幅広い分野の知識を探求する。地域社会やグローバル社会における重要な課題や考えに取り組む。
3. 考える人	複雑な問題を分析し、責任ある行動をとるために、批判的かつ創造的に考えるスキルを活用する。率先して理性的で倫理的な判断を下す。
4. コミュニケーションができる人	複数の言語や様々な方法を用いて、自信をもって創造的に自分自身を表現する。他の人々や他の集団のものの見方に注意深く耳を傾け、効果的に協力し合う。
5. 信念をもつ人	誠実かつ正直に、公正な考えと強い正義感を持って行動する。そして、あらゆる人々がもつ尊厳と権利を尊重して行動する。自分自身の行動とそれに伴う結果に責任をもつ。
6. 心を開く人	自己の文化と個人的な経験の真価を正しく受け止めると同時に、他の人々の価値観や伝統の真価もまた正しく受け止める。多様な視点を求め、価値を見出し、その経験を糧に成長しようと努める。
7. 思いやりのある人	思いやりと共感、そして尊重の精神を示す。人の役に立ち、他の人々の生活や私たちを取り巻く世界をよくするために行動する。
8. 挑戦する人	不確実な事態に対し、熟慮と決断力をもって向き合う。ひとりで、または協力して新しい考えや方法を探求する。挑戦と変化に機知り <sup>1</sup> に富んだ方法で快活に取り組む。
9. バランスの取れた人	自分自身や他の人々の幸福にとって、私たちの生を構成する知性、身体、心のバランスをとることが大切だと理解している。また、私たちが他の人々や、私たちが住むこの世界と相互に依存していることを認識している。
10. 振り返りができる人	世界につて、そして自分の考えや経験について、深く考察する。自分自身の学びと成長を促すため、自分の長所と短所を理解しようと努める。

<sup>1</sup>機知 … その場でとっさに働く知恵。

2 IBDP の教育課程と評価

2.1 IBDP の教科グループと科目およびスコア

2.1.1 教科グループと科目

	IB 科目
グループ 1	言語と文学
グループ 2	言語習得
グループ 3	個人と社会
グループ 4	科学
グループ 5	数学
グループ 6	芸術

\*芸術から 1 科目選ぶ代わりに他の教科<sup>グループ</sup>で 2 科目選択することもできる。  
履修する 6 科目のうち、3 ～ 4 科目を上級レベル [HL(Higher Level)] 科目とすることで、専門的な学習に取り組むことを推奨している。一方、残りの 2 ～ 3 科目は標準レベル [SL(Standard Level)] 科目から幅広く履修することが要件となっているので、生徒はバランスの取れた学習をすることができる。<sup>2)</sup>

コア科目

- 知の理論 [TOK(theory of knowledge)] …… 100 時間以上。
- 課題論文 [EE(extended essay)] …… 高い水準の調査や論文執筆能力、知的発見および創造性を育成することを意図している (8000 字)。
- 創造性・活動・奉仕 [CAS(creativity, action, service)] …… 150 時間以上。

2.1.2 スコア

フルスコア (満点)= 45 点。24 点以上で IBDP 取得 (合格最低ライン)。

スコアの内訳

- 各教科 7 点満点。つまり、7(点) × 6(科目) = 42 点。
- コア科目 (TOK & EE) で 3 点。\*\*CAS は評価に含まれないが、やっていないと IBDP は取得できない。

2.1.3 時間数

HL(上級レベル)

- 授業時間数 …… 240 時間。
- 必要科目数 …… 3 or 4 科目 (複合同順)。
- HL から SL に変更することはできる。

SL(標準レベル)

- 授業時間数 …… 150 時間。
- 必要科目数 …… 3 or 2 科目 (複合同順)。
- SL から HL に変更することはできない！

2.2 IB の評価方法

IB の評価は、内部評価 [IA(Internal Assessment)] と外部評価 [EA(External Assessment)] がある。

2.2.1 内部評価と外部評価

内部評価 [IA]

- プロジェクト・口頭試問・レポート・フィールドワークなど。
- 最終評価の 20% ～ 30%。
- サンプルを IBO に送り、ズレがないかチェック＝「モデリング」。

外部評価 [EA]

- Paper1,2,3 と呼ばれる最終試験。
- 最終評価の 70% ～ 80%。
- 外部試験官 (他の IB 校の教員など) が評価。

2.2.2 試験時期

9 月始まりの学校は 5 月に、4 月始まりの学校は 11 月に行われる。日本は後者である。試験は一斉開催である。

DP が取得できない場合

- 取れそうな科目だけ Certificate に切り替え。\*\*\*Certificate とは科目の修得証明である。
- 卒業資格 & Certificate でも十分大学入学は可能。

<sup>2)</sup> 基本的には HL 科目を 3 科目、SL 科目を 3 科目である。ただし、HL 科目を 4 科目履修した場合は SL 科目は 2 科目となる。